

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年9月11日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

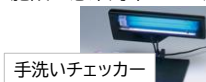
疾 病		疫学週			
		33 週	34 週	35 週	36 週
		8月10日 ~ 8月16日	8月17日 ~ 8月23日	8月24日 ~ 8月30日	8月31日 ~ 9月6日
イ新へ急 ス感型A性 フ染コR呼 ル症ロI吸 エナ〜器 ンウ感 ザイル染 症	急性呼吸器感染症(ARI)	197 39.40	303 60.60	335 67.00	452 90.40
	インフルエンザ *		1 0.20	9 1.80	27 5.40
	新型コロナウイルス感染症 *	1 0.20	1 0.20	2 0.40	27 5.40
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症 *	1 0.33			1 0.33
	咽頭結膜熱 *				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	1 0.33	2 0.67	5 1.67	5 1.67
	感染性胃腸炎		1 0.33		2 0.67
	水痘		7 2.33	1 0.33	
	手足口病	15 5.00	12 4.00	30 10.00	19 6.33
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	1 0.33		1 0.33	1 0.33
	ヘルパンギーナ *	10 3.33	9 3.00	18 6.00	14 4.67
	流行性耳下腺炎			2 0.67	
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎	2 2.00			2 2.00
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1.00	
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00
	無菌性髄膜炎				
拡 張 疾 患	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3	5	2
	川崎病	1		1	
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

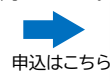
2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	○
備考	手足口病		インフルエンザ

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



手洗いチェッカー



申込はこちら



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 手足口病及びヘルパンギーナの患者報告数が高い水準で継続しています。
- インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の患者報告数が増加しています。今後も感染拡大が予想されます。咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗い等の感染対策を行ってください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 医療機関においてインフルエンザの集団がありました。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7594



【感染症コラム～結核～】

- 結核菌による慢性感染症で、患者のくしゃみや咳の際に体外に排出された菌を吸い込んで感染します。
- 免疫力が正常な場合、菌の増殖を抑えられますが、加齢に伴う免疫の衰えや他疾患の治療による免疫抑制等で菌の抑え込みができなくなると、結核を発病し菌を排出する状態になる場合があります。
- 結核菌は全身に感染します。主に肺に病変を作るため、風邪に似た症状で報告される患者が多いです。
- 治療は通常6～9か月間で、毎日薬をきちんと飲めば治ります。飲み忘れや中断は、薬剤耐性菌が生まれる可能性がありますから、医師の指示を守った服薬が重要です。
- 予防は、手指衛生、咳エチケットに加えて、こまめな換気、予防接種(BCGワクチン)、適度な運動・睡眠・栄養を心掛けた生活が有効です。
- 定期健診等で異常を指摘された場合は、速やかに医療機関へ事前相談の上、受診してください。